1　事業実施の成果

部　署	目　標	成　果			摘　要
会　員	正会員　２５名 協力会員　２５名 利用会員　１６０名	正会員　２３名 協力会員　２２名 利用会員　１５７名			正会員は入れ替わりなし 支え合いは夫婦での利用やケアマネからの紹介等で増加した
職　員	令和８年３月31日現在	正職員	パート	計	備　考
	管理事務	２	１	３	
	支え合い活動	１	０	１	
	よってこ松沼	０	０	０	ボランティアスタッフ５名
	グループホーム喜楽・喜楽Ⅱ	１１	１０	２１	ユニット兼務４名、派遣１名
	デイサービスセンター喜楽	２	６	８	地域密着デイ兼務２名
	地域密着デイの喜楽	４	４	８	デイサービス兼務２名
	多機能ケアの喜楽	８	９	１７	
	ケアプラン介護相談の喜楽	３	２	５	多機能兼務１名
	計	３１	３２	６３	
法人役員	理事長　恩田　初男 副理事長　小川　加津子 監事　赤坂　一郎	理事　原島　秀克 理事　佐藤　富代			理事　飯塚　裕 理事　曽根　勝 （北成島区長職）

部　署	目　標	成　果	摘　要
法人全体	①毎年の賃金改善を進めるため適正な収益を確保する	損益３４０万円の黒字であった 適正な収益確保に至らなかった	介護保険収入が令和６年度と同等になり予算を達成できず
	②各事業所の業務内容を見直し、効率化して利用者支援の充実を図る	各事業所での手作り食を調理済チルド食の湯せんに変更した	献立・買い物・調理にかかる時間を短縮し、介護業務に充てている
	③新規事業開始へ向けて法人体制の調整を進める	社用車貸出規程、従業員給与前払い制度、物品購入起案書等	法人拡大に向けた整備を行った
支え合い活動	理念「会員相互の支え合いで安心して暮らせる地域社会を目指す。」		
	①　協力会員　25名 利用会員　160名 チケット販売目標 900円券（1時間）2,500枚 450円券（30分）2,000枚 500円券（5km）4,500枚 100円券（1km）5,500枚	①　協力会員　22名 利用会員　157名 チケット販売実績 1時間券　2,091枚⇒84% 30分券　1,766枚⇒88% 5km券　3,525枚⇒78% 1km券　3,725枚⇒68%	〈実績の要因〉 R8年1月～活動回数の減少、透析患者の送迎など定期利用者が不在、単発の利用が多かったため
	②　料金改定の実施	R7年9月改定 1時間券　900円⇒1050円 30分券　450円⇒ 550円 5km券　500円⇒ 900円 1km券　100円⇒ 180円 迎車1km券（新規）　100円	アンケート、説明会を経てスムーズに活動に至っている 併せて協力会員の謝礼金も改定 1時間700円⇒800円

	③　協力会員２名増員 （紹介により）	３名増員、１名退会 結果的に２名増員できた	今年度も引き続き増員を図る
地域の居場所 よってこ松沼	理念「人と人とのつながりを作り笑顔になれるところです。」		
	①　他地域のさまざまな団体とも交流を推進する	10 月 11 日（土）松沼町まつりにかき氷店で協力	地元の役員や顔見知りと交流できたが利用拡大にはつながらなかった
	②　「送迎システム」構築の可能性を探る	送迎は担い手不足のためシステムは作れないことが分かった	自分の足で歩く努力をそれぞれが試みている、また家族が送迎している
グループホーム 喜楽	理念「地域社会の中で人とのつながりを大切にし、その人らしく、あなたと共に暮らします。」		
	①　安定した利用者数を確保し、適正な収益を得る	利用者数を確保できず、予算を達成できなかった	共用デイ利用者を２名確保できたが、入所や入院で０名になってしまった。引き続き共用デイ利用者を確保していきたい
	②　業務を見直し効率化することで、利用者との関わりを増やす	食事の湯せん化で調理時間が短縮され利用者との関わりは増えたが、全体的な業務の見直しはあまり進まなかった	ユニットリーダーを入れ替えたことで業務の見直しが進んだ部分もあった。引き続き業務を見直し効率化していきたい
	③　報告・連絡・相談の徹底	連絡ノート、申し送りで情報の共有は出来たが、報告や相談が不十分だった	事業所全体で周知しておくことは社内メールを活用することになった
デイサービス センター喜楽	理念「デイ喜楽は、楽しみをもってゆっくり過ごす、あなたのもう一つの家です。」		
	①　安定した利用者の確保	利用定員 12 人のところ 1 日平均 9.7 人であった	満員になるよう引き続き努力する
	②　職員の兼務でスムーズに業務が行えるようにする	兼務をしても問題が無いように書類などを整えた	送迎などもっと合理的に出来るようにする
	③　利用者さんのニーズに応え満足度を上げる	利用者さんのできることを探し感謝の気持ちを伝えられた	さらに満足度を上げる努力をしたい
地域密着デイ の喜楽	理念「私たちは本人と家族が安心して自宅生活を続けられるよう支援します。」		
	①　安定した利用者の確保	利用定員 15 人のところ 1 日平均 11.3 人であった	満員になるよう引き続き努力する
	②　業務をシンプルにする	無駄な業務をなくし書類なども整えた	まだまだ簡略化できると思う
	③　利用者さんのニーズに応え満足度を上げる	利用者さんの出来ることを探し感謝の気持ちを伝えられた	さらに満足度を上げる努力をしたい

多機能ケアの喜楽	理念「一人ひとりが主人公。私たちはあなたらしい生活を地域社会の中でご家族と共に柔軟に支えます。」		
	① 職員の心身の健康を維持し、離職者を出さないようにする	ほぼ達成、長く勤務している職員については健康を保てた	入社してすぐの離職者がいたが元々心身が健康でなかったためと思われる
	② 情報共有の徹底により連携に繋げる	まあまあ達成、利用者を理解しコミュニケーションを取り変化に気付いて情報を集めた	情報共有は出来ていたが、情報量が多く忘れてしまう
	③ 新規利用者の獲得	ほぼ未達成 多機能　　21 名（1 名増） ショート　 3 名（2 名増）	ショートステイは増えているが全体としては増えていない
ケアプラン介護相談の喜楽	理念「介護に係る相談を提供することで地域に貢献する。」		
	① 人員不足の解消	常勤ケアマネ２名入社	ケアマネを２名新たに採用し人員の強化を図った。業務の安定と適切なサービス提供体制の構築につなげた。
	② 働きやすい環境を整える	土日週休２日 毎朝 10 分ミニ話し合い実施	職員間のコミュニケーションを重視し、相談しやすい環境整備を行った。 仕事と私生活のメリハリを意識した働き方の推進に努めた。
	③ ムダをなくす	AI の活用 地域資源の活用	支え合いやよってこ松沼の活用を提案し支援の幅を拡大した。 AI の活用により事務業務の効率化を図り職員の負担軽減につなげた。

２　事業の実施に関する事項

（１）特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数
支え合い活動	日常生活で誰かの手助けが欲しい時、会員相互の支え合いで安心して暮らせる地域社会を目指す活動	活動日数 299日 延べ活動回数 2990回	利用者の自宅他	延活動者数 3064人	何らかの理由で日常生活に困っている人 延べ利用者数　231人
地域の居場所よってこ松沼	地域の人がだれでも気軽に来られ、親しく笑顔になれる交流の場として居場所を提供	営業日数 計88日 10時～ 16時	松沼町よってこ松沼	スタッフ 延べ 199人	延べ来所者　1251人 営業日数合計　88日 １日平均　14.2人
グループホーム喜楽	介護保険において認知症の人へ共同生活住居において、介護や生活支援サービスを提供し、地域との繋がりを大切にして喜びと安らぎを持って生活してもらう事業	365日 24時間	グループホーム喜楽 喜楽Ⅱ	管理者1名 看護師1名 正職員10名 パート職員 9名 (派遣１名) 計21名	認知症のため自宅での生活が困難な人 喜楽　9名 喜楽Ⅱ　9名 共用デイ　0名 計　18名
デイサービスセンター喜楽	介護保険において認知症の人の自宅での生活を支えるため通いでの介護サービスを行う事業	309日 日曜日 及び 12/30～ 1/2休業	デイサービスセンター喜楽	管理者1名 (兼務) 看護師1名 相談員1名 パート職員 5名 計8名	館林在住で認知症のある方 契約者　24名 延べ利用者数　3,001名 １日平均　9.7名
地域密着デイの喜楽	介護保険において自宅での生活を支えるため通いでの介護サービスを行う事業	309日 日曜日 及び 12/30～ 1/2休業	地域密着デイの喜楽	管理者1名 (兼務) 看護師2名 相談員2名 正職員2名 パート職員 2名 計9名	館林在住で介護認定を受けた方 契約人数　29名 延べ利用者数　3,483名 １日平均　11.3名

多機能ケアの喜楽	利用者個別の利用の仕方に対応し、通所・訪問・ショートステイを組み合わせた支援を行う事業 地域連携として民生委員、医療機関、利用者がよく行くお店や食堂、地域の住民と連絡を取り合っている	365日オープン 以来休業無し	多機能ケアの喜楽 利用者宅を訪問	管理者1名 (看護師・ケアマネ兼務) 正職員7名 パート職員9名 計17名	館林在住で在宅を基盤とした生活を続けたい方 契約者数　21名 ショートステイ　3名 （4/22現在）
ケアプラン介護相談の喜楽	介護保険において自宅での生活を支えるために必要な介護サービスの提供を利用者等と相談し、サービスの提供を支援調整する事業	土日及び12/30～1/2休業	ケアプラン介護相談の喜楽	管理者1名 介護支援専門員3名 事務員1名 計5名	介護サービスが必要な方 要介護　58名 要支援　15名 計　73名
講演会の開催（法人戦略）	「孤立・孤独」をテーマに講演会とパネルディスカッションを開催	R7.12開催	文化会館小ホール	来場者数 61名	群馬パース大学他非常勤講師、坂本祐子氏を招いた
会報の発行	年３回会報を発行して活動の内容を広報している。５５号は多々良地区近隣にミニカレンダーと共に４０００部のポスティングを行った	年３回　6100部印刷　会員・サービス利用者等に配布 発行日　令和７年　７月２５日　第５４号（700部） 令和７年１１月２５日　第５５号（4700部） 令和８年　３月２５日　第５６号（700部）			
ホームページ	各事業所隔月でブログを更新 求人情報も適時更新している	https://otagaisamaegao.net/			
関連事業 「認知症の人と家族の会」	公益社団法人「認知症の人と家族の会」が開催する「家族のつどい」東毛地域を担当 認知症家族の悩みや困り事を共有することによって介護負担の軽減を図る		太田 館林 桐生 伊勢崎	つどい 24回参加 世話人会 12回参加	延べ参加者　約155名
北成島町お祭	出し物フランクフルトの販売協力	8月3日	北成島町	6名参加	
社協福祉まつり	NPO連絡協議会として参加、かき氷販売	10月4日	館林社協	2名参加	
松沼町秋祭	出し物かき氷の販売協力	10月11日	松沼町	5名参加	
映画上映会	「ぼけますから、よろしくおねがいします」 SORANOMONシアターとの共催	11月1日	赤羽公民館		来場者数　67名
買い物ツアー	「スマイル」～住みよい北成島を考える会 買い物ツアー計画・開催	毎月第4金曜日	北成島町 松沼町	12回開催	延べ参加者　53名
「トモイキ」講演会	地域の人達と「発達障害」の人との関わり さわやかインスト・パートナーネット群馬	2月15日			来場者数　101名

（2）収益事業

・収益事業の実施はありませんでした。

3　会議の開催に関する事項

（1）第２６回定時社員総会

・日時　令和７年５月１２日（月曜日）　午後６時００分～７時３０分

・会場　北成島町区民会館　　群馬県館林市北成島町 2881-2

・議題　　第１号議案　令和６年度事業報告・決算報告　監査報告

第２号議案　令和７年度事業計画・活動予算

第３号議案　役員変更の件

第４号議案　定款変更の件

第５号議案　新規事業の融資の件

（2）理事会　全９回

事業計画に基づき事業の進捗状況報告や意見検討を行った。

	開催日	主な会議の内容
第１回	７年　６月 20 日	令和７年度法人、事業所目標について・広域デイ融資報告他
第２回	７年　７月 18 日	SORANOMON シアター映画会協力・館林市長に対する物価高騰支援要望
第３回	７年　９月 19 日	赤い羽根共同募金参加・松沼町秋祭り協力・虐待シェルター群馬県委託他
第４回	７年 10 月 17 日	調理済みチルド食材利用について・広域デイ、有料老人ホーム土地賃貸借等
第５回	７年 11 月 21 日	特定技能外国人受け入れ・赤い羽根共同募金承認・定期講演・忘年会他
第６回	８年　１月 16 日	労働者からの質問、意見の回答・最低賃金上昇の対応・派遣労働者雇入れ他
第７回	８年　２月 20 日	令和８年度目標・７年度補正による補助金・有料老人ホーム契約他
第８回	８年　３月 20 日	３６協定労働者代表選定・GH 付き添い料金徴収・職員ユニフォーム他
第９回	８年　４月 17 日	７年度決算結果・有料老人ホーム事前協議、設置届け出済み、建築スケジュール

（3）責任者会議　毎月１回　全 12 回

行事予定や各部署での課題を担当責任者で共有し、意思統一と部署間の情報共有を行った。

（4）支え合い活動

①協力会員総会報告会　コロナ禍により中止、５月精算時に個別に総会報告（目標）を行った。

②協力会員懇談会　　コロナ禍により中止

（5）よってこ松沼

①運営検討会　　開催実績なし

②スタッフ会議

毎月の行事予定と今後の利用拡大のための対策を話し合った。全 12 回。

③広報活動

松沼町回覧板で毎月広報を掲載している。

（6）グループホーム喜楽

①運営推進会議　奇数月１回　全６回
②家族会　　年1回
③職員会議　　毎月１回　全 12 回（ケアプラン会議は奇数月、全６回）
④避難訓練　　毎月１回　消防署立ち合い…5 月、10 月

（7）デイサービスセンター喜楽

①家族のつどい　年１回開催、アンケート実施
②職員会議　　毎月１回　全 12 回
③運営推進会議　グループホームと合同　全2回
④避難訓練　　毎月１回

（8）地域密着デイの喜楽

①家族のつどい　年１回開催、アンケート実施
②職員会議　　毎月１回　全 12 回
③運営推進会議　グループホームと合同　全2回
④避難訓練　　毎月１回

（9）多機能ケアの喜楽

①職員会議　　毎月１回　全 12 回
②家族会　　年１回アンケート実施
③運営推進会議　グループホームと合同　全6回
④避難訓練　　毎月１回

（１０）ケアプラン介護相談の喜楽

- 地域個別ケア会議　なし
- 他事業所との事例検討会　年３回（トータルケアサービス、東毛光生園）
- 職員会議　　毎月１回　全 12 回
- 定例会議　　毎週１回　全利用者を全職員が理解するために情報共有した。
- 情報交換会　　毎月１回　全 12 回　多機能・認知症デイ・地域密着デイと合同
  各事業所の利用者情報を共有し、適切なサービスに繋げた。

（11）ボランティア慰問

本年度はボランティア慰問の再開の検討を行っていない。